

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

新発田市長 二階堂 馨

市町村名 (市町村コード)	新発田市 (154206)
地域名 (地域内農業集落名)	加治川地区 ^③ (上今泉、関妻、川口、稲荷野中、塚田、吉田、古楯、小島、湖南)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年3月5日、11月19日 (第1回)(第2回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

<p>【上今泉・関妻・川口】 農産物価格が下落し続けており、明るい未来がなかなか見えない。後継者の育成、担い手の確保を行いたいのが現状ではなり手もない。 ある程度、当該地域については、耕作者の年齢も若めなので当該地区においてどのようにしていくべきか検討を重ねていく。</p> <p>【稲荷野中・塚田・吉田・古楯・小島】 地区内の耕作状況として、60歳未満の農業者も多く存在する一方で、60歳代の耕作者が約5割を占め、かつ後継者が未定の割合が高い。 地区内における農地集積・集約は進んでおり、地区内耕作者は10名程度いるが、一方で地区外からの入作者も多く、耕作地が分散錯圃している状態である。</p> <p>【湖南】 耕作者の高齢化が進む中、これまで地域が守ってきた美田の維持・保全を継続するためには、後継者の育成が急務となっている。</p> <p>【主な作物】水稲、大豆、麦、オータムポエム、タマネギ、チューリップ</p>

(2) 地域における農業の将来の在り方

<p>【上今泉・関妻】 ・現耕作者が経営規模を拡大し、地域の農地を引き受けていく ・複数集落で広域営農法人化(法人等の合併)、協力体制を進める</p> <p>【川口】 ・現耕作者が経営規模を拡大し、地域の農地を引き受けていく ・有志で法人化し、経営規模を拡大していく</p> <p>【稲荷野中・塚田・吉田】 ・隣接地域からの入作者に耕作を依頼する</p> <p>【湖南】 ・有志で法人化し、経営規模を拡大していく ・後継者を勧誘する(法人の構成員か親元就農者として)</p>

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	365.80 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	365.80 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	— ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

農業振興地域農用地区域内の農地及びその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とする。
--

注: 区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針 【上今泉・川口・稲荷野中・塚田・吉田・湖南】 大部分の現耕作者の意向を確認することができたが、一部の関係者の合意は取れていないため、今後も継続して協力を求めていく。
(2) 農地中間管理機構の活用方針 【上今泉・関妻・川口】 離農を行う者がいれば、原則、農地中間管理機構を活用する。 【稲荷野中・塚田・吉田・古楯・小島・湖南】 地域の農地所有者は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける。
(3) 基盤整備事業への取組方針 湖南をはじめとした加治川地区は既に基盤整備済であり、法人等の担い手を中心とした営農が図られている。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針 効率的かつ安定的な農業経営を行う多様な経営体の確保・育成のため、認定農業者制度、認定新規就農者制度及び各種支援制度を活用するとともに新潟県農業経営・就農支援センター、北新潟農業協同組合等と連携して研修・指導や相談対応等に取り組む。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針 農業機械の共同化や作業委託について、今後検討していく。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input checked="" type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input checked="" type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨六次産業化	<input type="checkbox"/> ⑩その他
【選択した上記の取組方針】 【上今泉】 米以外の有機栽培(減農薬・減肥料) 【関妻】 鳥獣被害対策 【川口】 スマート農業(ドローン等の導入による農作業の負担軽減や効率化) 【湖南】 果樹等栽培、スマート農業(ドローン等の導入による農作業の負担軽減や効率化、経費削減)、農業用施設の集約化(経費削減の効果)				